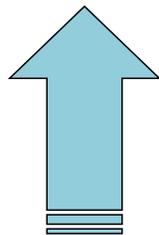
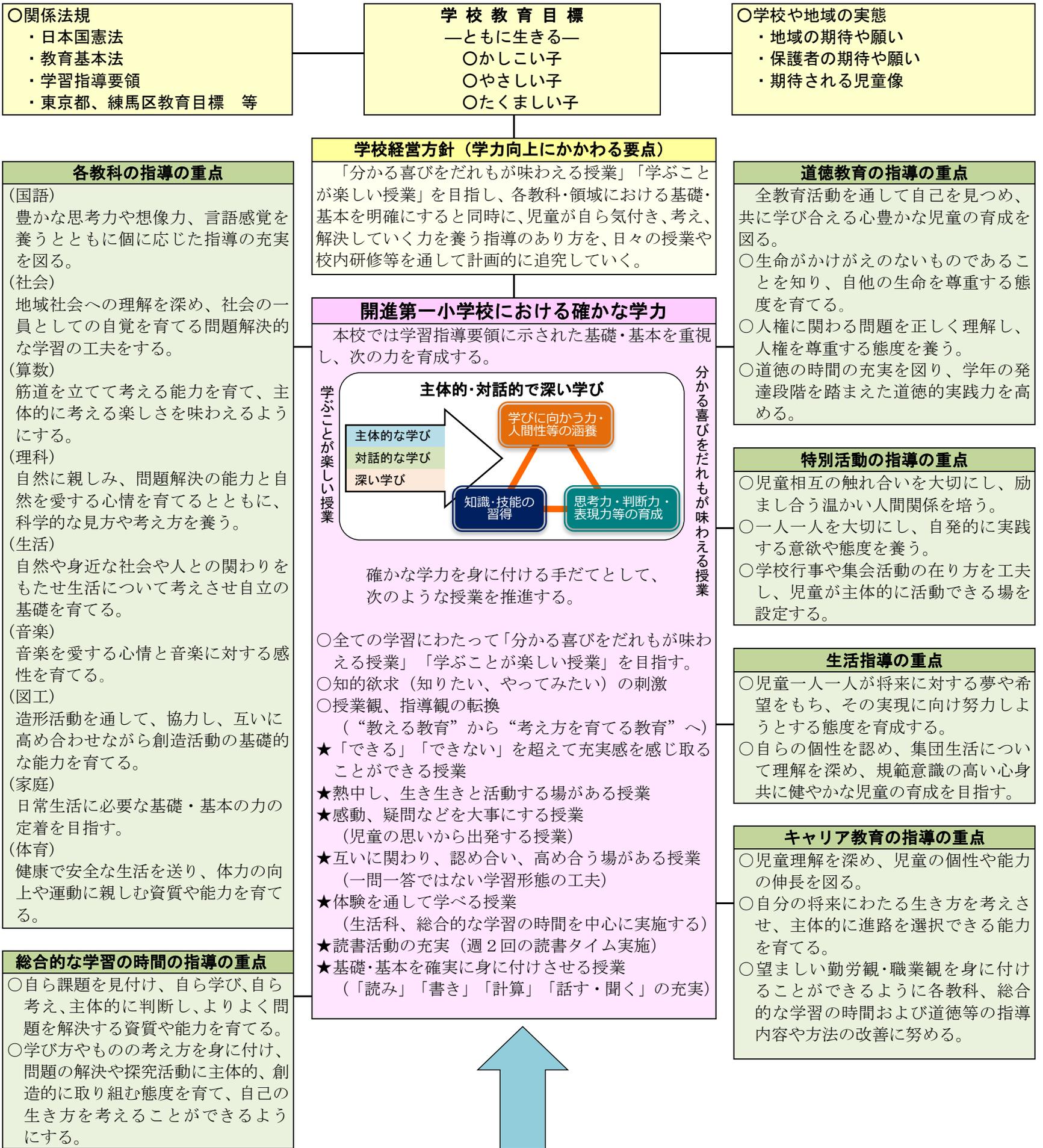


平成29年度 学力向上を図るための全体計画



本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の視点
<ul style="list-style-type: none"> ○「関心・意欲・態度」と「読み解く力」の2点に重点を置き、学力の向上を図る。 ○発展的な学習・補充的な学習の開発をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○1、2年生の算数におけるTT指導、3～6年生の算数における習熟度別指導を行う。 ○全学年特色ある教育活動の継続・発展をする。 ○土曜授業の有効活用をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「算数指導の基礎基本～主体的な学びを通して確かな学力を身に付ける算数の指導～」を校内研究の主題とし、指導力の向上を図る。 ○授業実践を中心に個々の指導力を高める研修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個のよさや伸びの評価（画一的でない評価の物差しを用意）を行う。 ○評価したら指導に生かす評価活動のサイクルを重視する。 ○学校評議員等、外部指導を生かした改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間8回の土曜学校公開を実施する。 ○学校公開の保護者の感想や関係者評価などを授業改善に活用する。 ○道徳授業地区公開講座を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間2回、6年児童による中学校訪問を実施する。 ○中学校教諭への授業公開と研究協議会の実施を行う。 ○9年間を見通した体育と外国語活動のカリキュラムを作成し実践する。また、算数、国語については、昨年作成したカリキュラムの検証を行う。